

視聴覚教育

NO.302
発行日 16.5.20
発行 岡崎市AVL
編集 現職教育委員会
学習情報部

視聴覚用語

「ハイブリッドレコーダ」
二つ以上の記録装置を内蔵したビデオレコーダ。現在ではハードディスク(HDD)とDVDの両方に対応したレコーダのことを言う。

平成十六年度

学習情報部方針決定！

研究主題

高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう

研究の重点

学習メディア・パソコンの効果的な

活用法の研究

校内ネットワークの環境整備と

活用法の研究

岡崎教育ネットワークの環境整備と

活用法の研究

市自作ビデオの活用の促進と

学校独自の自作視聴覚教材の制作

視聴覚教室やパソコン教室の

総合的な管理・運営方法の工夫

教育チャンネルや校内放送の活用法の研究

主任会の活動

〔広報部会〕…授業実践や視聴覚関連の研究の

集積、研究誌や月報の発行、学

習情報部のホームページ管理等

〔研修部会〕…各種研修会・講習会の計画・実

施や各種視聴覚教材や教育メデ

ィアの研究、機器調査等。

〔自作部会〕…自作教材ビデオ・自作マルチメ

ディア教材の制作とその活用事

例研究等。

〔教科部会〕…「視聴覚教材・機器利用の手引

き」の発行、ソフトの利用促進

と活用法の研究等。

平成十六年度組織

視聴覚・情報教育の

大きな節目の年に

学習情報部部长 石原 雅充

新しい年度が始まり、すでに一ヶ月半が過ぎました。学校、幼稚園、保育園、社会教育団体のみならずにおかれては、それぞれ目標を掲げ、その達成に向けて着実に歩みを進めてみえることと思います。

近年の著しい情報通信技術の発達に伴い、社会のあらゆる分野で情報化が一段と進んでいます。学校教育においても社会教育においても、この情報化の流れは避けて通ることができません。その中で一人一人の学習者には、情報に埋没することなく、情報機器や情報を主体的に選択し、発信することが求められています。情報活用能力やメディアリテラシーの育成が急務と言われるゆえんです。また、情報化によるメリットを最大限に活かせるような環境づくりをしていく必要にも迫られています。

幸い岡崎市では、高度情報通信社会に対応する環境整備が着実に進められています。学校現場においては昨年度、全中学校のパソコン教室

の更新が図られました。導入ソフトも新しくなり、より一層の利用を期待されています。

環境整備の進展に伴い、運用のためのデータの蓄積も求められています。すでに岡崎市教育ネットワーク内には、七万点以上のデジタルコンテンツが登録されています。この中には、授業で利用できる動画や静止画、学習情報を

収集するためのリンク集が整理されています。また、

昨年度より開始された「ふるさと岡崎メディアコンクール」は、地域に根ざした視聴覚教材制作の奨励とデータの蓄積という点で大きな役割を果たしています。

今年度は、視聴覚ライブラリーが発足して50周年という、大きな節目の年にあたります。恵まれた環境を生かして、岡崎の視聴覚・情報教育のますますの発展が期待されています。

「視聴覚教育あれこれ」



「視聴覚教育あれこれ」

視聴覚ライブラリー

… 転新任者

所長 (教育長)

藤井 孝弘

副所長

深谷 悦子

職員

宮田 典彦

松田 美智

学習情報部組織

部長

石原 雅充 (竜南中長)

高木 和広 (奥殿小長)

菅沼 国雄 (広幡小長)

担当指導主事

小川 規博

指導員 (教育委員会学校指導課)

名倉 嘉章 (六北中)

杉浦 修 (六名小)

世話係

内藤 法雄 (北野小) 島田 繁直 (六北小)

小田 哲也 (竜南中) 佐渡 英彰 (竜海中)

各部世話係

〔広報〕

佐渡 英彰 (竜海中) 小田 哲也 (竜南中)

河合 泰宏 (羽根小)

〔研修〕

算 哲也 (城北中) 山口 秀樹 (常磐東)

〔自作〕

岡 秀之 (六北中) 伊藤 研治 (葵中)

坂田 健一 (矢作中)

〔教科〕

島田 繁直 (六北小) 内藤 法雄 (北野小)

村田 貴志 (甲山中)

＝ レッツ・トライ ＝



各種大会・研究会の案内

・ New Education Expo 2004

5月27・28・29日 (東京会場)

東京ファッショントウン

6月2・3日 (大阪会場)

大阪マーチャングाइズ・マート

・ 三教研自作教材研究会

8月4日 幸田町民会館

・ 愛知県放送教育特別研究会

(東海北陸地区放送教育研究会)

8月18日 研究会)

県中小企業センター

・ 愛知県学校視聴覚教育研究会

研究会発表

3月上旬予定

名古屋市教育センター

・ 放送教育研究全国大会

11月5・6日

東京都内各学校

NHK放送センター

・ 視聴覚教育総合全国大会

11月29・30日

東京都内

この他、本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。ぜひご参加ください。



さい。

新年度がスタートしました。ライブラリーでは、機器・教材の活用について、社会教育・学校教育関係者のサポートをしています。気軽にご相談ください。

教材などの配達・回収

視聴覚教材、16ミリ映画、ビデオ・レーザーディスク教材の利用を希望する小・中学校・幼稚園に配達・回収を行っています。毎週火曜日に配達、翌週の月曜日に回収に伺います。必ず電話で予約の上、お申し込みください。

教材機材の一覧につきましては、各団体に配布してあります。「視聴覚機器・教材目録」、「視聴覚教材・機器利用の手引き」をご覧ください。

ビデオ教材のダビングサービス

ライブラリーでは、制作した自作ビデオ番組や行事記録等のダビングを行っています。お手持ちのビデオテープの背に「番組名」と「学校名」を記入の上、送付ください。原則として、1番組1本のテープでお願いいたします。(テープの種類は問いません)

「視聴覚教材・機器利用の手引き」第9集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなど、大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。

ライブラリーだより